

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（小学校用）

都道府県名	高知県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	土佐市立北原小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	11
児童数	6	14	11	17	11	12	1	72	

研究の概要

1. 研究主題

自分の考えを持ち、追求し続ける子ども  
～確かな学力と生きる力をめざして～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

\* 実施学年及び教科を選択した理由を記すこと。\*（ ）はT.T配置時間  
1年 算数（2時間）                    4年 国語（2）算数（5）  
2年 国語（1）算数（3）            5年 国語（1）算数（4）  
  6年 国語（1）算数（4）

CRTの結果、国語科においては指示語が何をさすのか分からない、修飾語の關係をつかむのが苦手であるとの結果がでた。また、算数科においては計算領域の積み上げが十分でないことや高学年では文章問題が苦手であるという結果がでた。これらの結果を受けて各学年での国語科では主に文法指導を行うことにし、算数科では計算領域の繰り返しや文章問題での個別指導を行うことにした。（3年はほとんど障害児学級担任とともに学習指導を進めている）

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	テーマ 確かな学力と生きる力の育成をめざして
	研究の見通し（仮説） 子どもの意欲や関心を高めるような教材やテーマを選び、子どもを中心とした活動の場の設定や適切な教師の支援を行えば、学習したことが確かな学力となり生きる力となるであろう。
	研究の内容・方法 ・個々の児童の基礎的・基本的な力の実態把握（CRT2回実施） ・教師の授業改善の視点を明らかにする（授業研究の充実） ・評価活動の実施（学校評価の実施）

平成	テーマ 国語科・算数科における基礎・基本の定着をめざして
	研究の見通し 国語科や算数科において、子どもの意欲や関心を高めるような教材やテーマを

15 年 度	<p>選び、子どもを中心とした活動の場の設定や適切な教師の支援を行えば、学習したことが確かな学力となり生きる力となるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による授業改善（自主的な授業公開の実施・習熟度別）</li> <li>・家庭・地域との連携を図る（学習ボランティア活用）</li> </ul>
--------------	---

平 成 16 年 度	<p>テーマ</p> <p>国語科と算数科における基礎・基本の定着と家庭での学習の習慣化をめざして</p> <p>研究の見通し</p> <p>国語科や算数科において、子どもの意欲や関心を高めるような教材やテーマを選び、子どもを中心とした活動の場の設定や適切な教師の支援を行えば、学習したことが確かな学力となり生きる力となるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な実態把握（C R Tの実施）</li> <li>・家庭学習の習慣化をめざして（生活リズムの確立）</li> <li>・評価と指導の一体化（相互・自己評価方法の工夫）</li> </ul>
------------------------	--

### (3) 研究推進体制

本校では、学校教育目標や研究主題を実現するために、教育研究部・人権研究部・生活研究部の3つの専門部会に分かれ、それぞれの目標やテーマのもと研究を推進している。昨年度より、学力向上に向かっての研究を深め、教育研究部の活性化を図るため、教育研究部の中に国語部・算数部・資料部の三部会を設置した。そのなかには、全教職員が入るものとし、それぞれのテーマのもと、より具体的な手立てを講じていくことにした。

```

graph TD
    A[研究組織] --- B[人権研究部]
    A --- C[教育研究部]
    A --- D[生活研究部]
    C --- E[国語部]
    C --- F[算数部]
    C --- G[資料部]
  
```

### 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

#### 1. 研究の成果

<p>平成14年4月と平成15年2月のC R Tを比較分析し、平成15年度の具体的な取り組みを決めた。</p> <p>国語科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年 内容の読み取り（13人中／7人誤答）</li> <li>2年 場面の読み取り（12人中／10人誤答）</li> <li>3年 読む力・漢字、ことばについて</li> <li>5年 報告書に書く内容（12人中／3人誤答）</li> <li>6年 修飾語関係の理解（12人中／8人誤答）</li> </ul> <p>これらの結果を受けて書くことの指導を重点的に行い実践を積み上げてきた。また、言語事項の習得とともに語彙に対する感覚を常に磨いていけるよう、朝読</p>
--

書を毎日続けて取り組むことができた。

算数科

特に、現在の4年生については個別指導が必要な児童や計算問題などが定着していない児童が多かった。T・Tの時間配分も4年に多く入るようにしてみた。まだまだ、個別指導は必要であるが、個別指導を必要とする児童は3名ぐらいとなった。

## 2. 今後の課題

これまでの実践を通して、基礎・基本を定着させていく具体的な手立や内容が明らかになってきている。これからはそれらを整理し、本校の基礎・基本や具体的な手立てを明確にしていく必要がある。国語科と算数科の大きな取り組みから、1つ1つの単元においての基礎・基本を抜き出し考えていかなければならないと考える。

基礎・基本に取り組むことは、日々の地道な指導や活動が中心である。しかし、今回の実践により、教師の向う姿勢によって子どもの姿も変わることが分かった。今後も、継続的な取り組みによって、子どもの確かな基礎学力の向上が図っていけると考える。

## 学力等把握のための学校としての取組

### 1 CRT 検査の目的

- ・ 個々の児童の基礎・基本の学習状況を把握する検査である。
- ・ 教師の本年度の学習指導に生かすためのものである。
- ・ 各学期の「あゆみ」(通知表)などと、CRT 検査の結果と関係はない。あくまでも、教師が個々の児童への指導に生かす資料とする。
- ・ 教科書内容のどこに児童の理解のつまずきがあるかを把握するためのものである。
- ・ そのつまずきを克服するための指導方法を家庭とともに考えていく。

### 2 CRT 検査の内容

C R T 検査は現在の学年で学習した内容の検査である。(2月12日実施予定)  
1年～6年(全学年)・・・国語、算数の2教科

### 4 CRT 検査結果の配布方法

CRT 検査の結果については封筒に入れて子ども便で結果を家庭へ配布

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

\* 平成15年12月2日(火)学力向上フロンティア事業指定校 北原小学校研究発表会を開催

会 場 土佐市立北原小学校・北原小学校谷地分校

参 加 者 県内外より200名参加

資料配布 研究紀要・指導案綴り・「家庭学習のてびき」

特に、保護者や地域の方々による特別分科会を行うことで、本テーマに関わる学校・家庭・地域の役割について啓発できたと思う。

また、土佐市教育研究所のご指導のもと「家庭学習のてびき」を作成することができた。今後はこのてびきをいかに家庭で活用してもらうかが大切になってくる。

---

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- |                      |  |   |  |          |
|----------------------|--|---|--|----------|
| 【新規校・継続校】            | 15年度からの新規校   | <input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校        |  |          |
| 【学校規模】               | 6学級以下<br>13～18学級<br>25学級以上                         | <input checked="" type="checkbox"/> 7～12学級<br>19～24学級 |  |          |
| 【指導体制】               | 少人数指導<br>一部教科担任制                                   | <input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導<br>その他   |  |          |
| 【研究教科】               | <input checked="" type="checkbox"/> 国語<br>生活<br>体育 | 社会<br>音楽<br>その他                                       | <input checked="" type="checkbox"/> 算数<br>図画工作 | 理科<br>家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 |  | <input checked="" type="checkbox"/> 有                 |  | 無        |